

特記仕様書

この特記仕様書は、上尾市消防吏員服制規則（昭和61年5月1日規則第17号）に基づき、上尾市消防本部が購入する防火衣について必要な事項を定める。

記

1. 物 品 名 防火衣
2. 納入場所 上尾市消防本部消防総務課（上尾市大字上尾村537番地）
3. 納入期限 令和8年3月19日
4. 性能、仕様等 各種条件一覧のとおり
5. その他
 - （1）試着用として各品のサンプルを準備し納入場所に貸与すること。ただし、貸与期日・サンプルサイズ種類等については別途協議する。また、サンプルを試着し、個人のサイズが判明後まとめて発注する。
 - （2）仕様書、特記仕様書に定めのないことについては、双方で協議し円滑に対処するものとする。
なお、変更があった場合は変更契約を結ぶものとする。
 - （3）納品検査後であっても、生地、縫製、付属品及び寸法等、縫製上の欠陥が認められた時は、受注者の責任において無償で修理又は交換をするものとする。
 - （4）この防火衣に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査が実施され、この特記仕様書を全て満たすものでなければならない。
また、本特記仕様書の細部及びその他について疑義がある場合は、発注者の指示を受けること。
 - （5）令和4年3月に総務省消防庁より示されている「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」（消防隊員用個人防火装備のあり方に関する検討会報告書）に準ずる物品を納入すること。
 - （6）支払いは一括払いとする。
 - （7）受注者は、発注者による納品検査に合格した後、発注者へ支払請求書を提出すること。
 - （8）発注者は、支払請求書に基づき支払うものとする。

各種条件一覧

I 防火衣上下

1 共通

この防火衣は、外衣と内衣からなる多層構造とし、立体デザインの上衣とサスペンダー付きズボンとする。

2 使用材料

(1) 外衣生地（上衣／ズボン）※しころ共

ネイビー色、ゴールド色、どちらも素材はメタ系芳香族ポリアミド繊維、パラ系芳香族ポリアミド繊維、PBO繊維の三者を混紡した生地とし、規格は【別表1】の項目を満たすものとする。

(2) 內衣

ア 透湿防水層（上衣／ズボン）※しころ共

素材は芳香族ポリアミド繊維生地にフッ素樹脂多孔質フィルム加工したものとし、規格は【別表2】內衣の規格を満たすものとする。

イ 断熱層（上衣用）

素材は芳香族ポリアミド繊維生地に芳香族ポリアミド繊維の糸をストライプ状に配置した形状とし、空気層を有効に得られる構造とし、【別表2】內衣の規格の試験項目及び規格を満たすものとする。

ウ 断熱層（ズボン）※しころ共

素材はアラミド繊維を主体とする生地を使用する。【別表2】內衣の規格を満たすものとする。

エ 補助材料

上衣、補助材料は、【別表3】補助材料の規格を満たすものとする。

ズボン、補助材料は、【別表4】補助材料の規格を満たすものとする。

3 縫製

(1) 全般 ※しころ共

ア 縫製は、防火衣としての強度を確保できるものとする。

イ 糸調子等は、良好であるものとする。

ウ 反射テープ部分は2重縫いとする。

4 上衣

(1) 条件

ア 消防活動に適した作業性と安全性を十分に確保するため、着用者が腕を上方に引き上げた時でも、防火上衣全体が上方へ引き上げられず、スムーズに運動できるデザインであること。

イ サイズ及び形状

サイズは【別表5】とし、形状は【別図1】及び【別図2】のとおりとする。

(2) 身頃

ア 身頃は、左右前身頃各1枚と後身頃1枚をほぼ台形状の肩部において、連結させる構造とす

る。

イ 前合わせはファスナーと面ファスナーを用いた開閉式とする。但し、取っ手を付けるなど、容易に着脱できる処置をすること。

ウ 肩当てパットは、両肩部にパラ系芳香族ポリアミド繊維 100%のフェルトの肩当てを外衣共布に挟み縫い付ける。

エ マイクフックは、左右胸ポケットの上に水平 2 か所、その上部にハの字に 2 か所縫い付ける。マイクフックはネイビーとする。【別図 1】参照

(3) 袖

左右袖は、外袖、内袖、マチ部及び袖口身返しにより構成する。なお、マチ部により、左右肩一端部と、左右前身頃、後身頃と、立体的に湾曲に形成された筒状の袖が連結され、両袖を上方へ引き上げた時に、前身頃、及び後身頃が上方へずり上がらない構造のいわゆる Y ライン袖付けとする。

(4) 衿

ア 表裏外衣共布を用い、耐熱ゴム引布を芯地にする。

イ 衿中央部内側に十分な強度をもった衿吊りを取り付ける。

(5) 吊り下げ用小 D 環

身頃両脇に、吊り下げ用小 D 環を取り付ける。

(6) ポケット

ア ポケットは、ふうきんを付け、つかみやすい変形雨蓋付きアウトポケットとし、左右身頃に平行に取り付ける。【別図 1】参照

イ 底部には、水抜き用ハトメを取り付ける。

ウ 雨蓋止めは、面ファスナーとする。

エ 左右胸ポケットは 3 方マチとし、中にフックを縫い付ける。

オ 左右裾ポケットは 2 方マチとし、雨蓋は分割なしで縫い付ける。

カ 左右裾ポケット内部にフックを縫い付ける。

(7) 反射布

左右胸、左右上腕、裾、袖、背中 of 表面に各々縫い付ける。【別図 1】参照

(8) 標示布

外衣の左ポケット裏に標示布を縫い付ける。

(9) 消防名表示

背上部に【別図 2】の通り文字を印刷する。

(10) 內衣

ア 內衣はファスナーで着脱できる物とする。

イ 身頃は、左右前身頃、後身頃及び左右肩部から構成する。

ウ 袖は、上袖、下袖及びマチ部から構成する。

エ 袖先には、ジャージを取り付ける。

オ 袖先部に、外衣袖口部と面ファスナーにて取り付ける防水布を縫い付ける。

カ 防水層の縫い目は目止め加工を施す。

(11) ペットボトル収納袋

ア ペットボトルが入る大きさの補助ポケットをネイビー色共生地にて、作成し 1 着につき 1 袋

同梱する。

イ ペットボトル収納袋の背面は、フックに掛けられる構造とし、その下に面ファスナー受けを縫い付ける。

ウ 上衣背面裾部にペットボトル収納袋用のフックと面ファスナーを左右に縫い付ける。

【別図 2】 参照

(12) 補強布

袖口部に補強布を縫付ける。【別図 1】 参照

(13) ワッペン

ワッペン台座を左袖上腕部に縫い付ける。

ワッペンの内訳は別途協議とする。

(14) 冷却材ポケット

インナー脇部にあたる部分に冷却材ポケットを左右 2 か所取り付け。

現行採用している冷却材 (20.5 cm × 13.5 cm) が入る大きさとする。

(15) ランヤードスリット

左身頃の裾ポケットの後部にランヤード取り出し用スリットを取り付け、中心と下部に押しホックを取り付ける。

5 ズボン

(1) 条件

消防活動に適した作業性と安全性を十分に確保するため、着用者が膝の上下、屈伸運動をした時でも、膝部の抵抗が少なく、腰部のずれ下がりが少ないこと。

(2) サイズ及び形状

サイズは【別表 6】とし、形状は【別図 3】とする。

(3) 身頃

ア 腰部及び、左右上脚部、左右下脚部を有し、左右上脚部の筒状のものと、左右下脚部の筒状のものを連結させた構造とする。なお、尻部には脚曲げのための、余裕を確保し、連結部分には膝曲げのための余裕を取ったものであること。更に股下は、バイヤス方向にマチ部を取り、運動性を高める構造とする。

イ 前立ては、押しホックと面ファスナー止めとする。

ウ 裾の外脇に長さ約 33 cm のファスナーを縫い付け、裏に水切り用として共布を縫い付ける。

(4) ウエストベルト

ウエストベルトは本体部の腰部ほぼ全周を包む縫い付け式のベルトとする。なお、ベルトは、後部のコキ尾錠により、長さを自由に調整出来るものとする。

(5) 安全帯通し

腰部に、計 3 ヶ所、共布 3 枚重ねで縫い付ける。前側 2 か所縫い付けた後、押しホックを上側 2 か所に取り付けるものとする。

(6) ポケット

- ア 左右ポケットは、2方マチとし、雨蓋は分割なしの変形雨蓋付きアウトポケットとする。
 - イ 底部には、水抜き用ハトメを取り付ける。
 - ウ 雨蓋止めは、面ファスナーとする。
- (7) 反射布
- 裾口に反射布を縫い付ける。【別図3】参照
- (8) サスペンダー
- サスペンダーは取り外し出来るものとする。
- (9) 內衣
- ア 外衣と內衣は、各々縫製後、胴回り一周と前立て及び裾口とで縫い合わせ一体とする。
- イ 內衣身頃は、膝部での切替えとする。切替えより上部は、左右前身頃、左右後身頃から構成する。切替えより下部は、前身頃、後身頃から構成する。
- ウ 內衣、左前身頃上部に標示布を縫い付ける。
- エ 防水層の縫い目は、目止め加工を施す。
- (10) カラビナフック
- 墜落静止器具のカラビナが掛けられるフックをネイビー生地にて作成し左右に縫い付ける。
- 【別図3】参照

外 衣 規 格

【別表 1】

項目	仕様規格等		試験方法
構成	ネイビー、ゴールド色生地部 メタ系芳香族ポリアミド繊維とパラ系芳香族ポリアミド繊維の混紡生地に、パラ系ポリアミド繊維とPBO 繊維の混紡糸を格子状に入れたもの		—
混用率	ネイビー、ゴールド色地組織部 メタ系芳香族ポリアミド繊維 パラ系芳香族ポリアミド繊維 PBO 繊維	40%以上 9%以上	JIS L 1030 (標準)
使用番手	ネイビー地組織部 格子部	たて・よこ共 30/2 たて・よこ共 30/2	JIS L 1096
組織	斜文織		JIS L 1096
密度 (本/2.54cm)	たて 45 本以上 よこ 30 本以上		JIS L 1096
燃焼性	残炎時間	1 秒以下	JIS L 1091 A-1 法 45° 法
	燃焼面積	1 cm ² 以下	
	火炎が試験片の上端・両端に伝播したか	しない	ISO11999-3 TYPE2 ISO15025 B 法 (4.17.3) 前処理後
	熔融滴下物の有無	なし	
	残炎時間	1 秒以下	
	炭化長	3 cm 以下	
	残じんが炭化した部を超えて伝播したか	しない	
引張強度	たて 2,000N以上 よこ 1,500N以上		JIS L 1096 A 法 ラベルテストリップ 法 引張速度：20 cm/min つかみ間隔：20 cm 試験機：定速伸長形
引裂強度	たて 200N以上 よこ 150N以上		JIS L 1096 A-1 法 シングルタング 法 試料幅：5 cm 引張速度：10 cm/min
シーム強度	225N以上		JIS L 1093 : A-3 法
染色堅牢度	耐光 (変退色)		2 級以上
染色堅牢度	洗濯 (変退色)		4 級以上
染色堅牢度 色相	洗濯 (汚染)		4 級以上
染色堅牢度 色相	汗 (酸性 変退)		4 級以上
染色堅牢度 色相	汗 (酸性 汚染)		4 級以上
染色堅牢度 色相	汗 (アルカリ性 変退)		4 級以上
染色堅牢度 色相	汗 (アルカリ性 汚染)		4 級以上

※しころも同様とする。

內衣の規格

【別表 2】

試験項目	試験方法	規格		
		防水層	上衣断熱層	ズボン／しころ 共断熱層
重量	J I S - L - 1 0 9 6	1 6 0 g/m ² 以下	2 2 0 g/m ² 以下	1 5 0 g/m ² 以下
引張強度	JIS-L-1096 ラベル・スリップ法 試料幅 5 cm 引張速度 2 0 cm/min つかみ間隔 2 0 cm 試験機 定速伸長形	たて 4 5 0 N以上 よこ 4 5 0 N以上	たて 4 5 0 N以上 よこ 4 5 0 N以上	たて 4 5 0 N以上 よこ 4 5 0 N以上
引裂強度	J I S - L - 1 0 9 6 シングルタンク法	たて 2 5 N以上 よこ 2 5 N以上	たて 2 0 N以上 よこ 2 0 N以上	たて 2 0 N以上 よこ 2 0 N以上
燃 焼 性	J I S - L - 1 0 9 1 A-1 法	残炎 1 秒以下 残じん 1 秒以下 炭化面積 1 5 cm ² 以下	残炎 1 秒以下 残じん 1 秒以下 炭化面積 1 5 cm ² 以下	残炎 2 秒以下 残じん 2 秒以下 炭化面積 1 5 cm ² 以下
耐水度	J I S - L - 1 0 9 2 B 法 洗濯方法 J I S - L - 0 2 1 7 1 0 3 法	初期 3 0 0 kpa 以上 2 0 回洗濯後 3 0 0 kpa 以上		
透 湿 度	J I S - L - 1 0 9 9 B-2 法	6 0 0 g/m ² ・h 以上		

防 火 上 衣 補 助 材 料

【別表 3】

区分	品 名	規 格	用 途
補 助 材 料	面ファスナー	黒色 幅 50mm	衿止め、內衣取付用 (裾部)
	面ファスナー	黒色 幅 38mm	ポケット (雨ぶた止め用)
	オープン ファスナー	長さ40cm 樹脂製	前合わせ
	耐熱ゴム引布	基布にアルミニウム粉末を混入した合成ゴムを 片面加工	衿 芯
	フェルト	パラ系全芳香族ポリアミド100% 280g/m ² 標準	肩当てパット
	ジャージ	芳香族ポリアミド 濃紺色	内袖用
	反 射 布	3Mオレンジグレー75mm巾 50mm巾	左右胸部 裾回一周 両 袖
	D 環	金属製小環	左右両脇腹部
	座付ハトメ	#500	ポケット 水抜き用
	標 示 布	白キャラコ	標示布
	縫 製 糸	芳香族ポリアミド 30番 芳香族ポリアミド 40番 生成色、紺又は黒色	ほつれ止めを除く

防火ズボン 補助材料

【別表4】

区分	品 名	規 格	用 途
補 助 材 料	サスペンダー	H型グレーサスペンダー	サスペンダー
	留め ファスナー	長さ33cm 金属製	裾ファスナー
	面ファスナー	黒色 幅 50mm	ポケット 前立て
	ナイロンバンド	黒色 幅 3cm 以上	ウエストベルト
	D 環	黒色樹脂製	ウエストベルト
	押しホック	#7050 黄銅製ニッケルメッキ	前合わせ 內衣胴回り止 內衣裾止
	ボ タ ン	黄銅製ニッケルメッキ	サスペンダー 取付用
	座付ハトメ	#500	ポケット 水抜き用
	反 射 布	3M オレンジグレー75mm 巾	裾回一周
	標 示 布	白キャラコ	標示布
	縫 製 糸	芳香族ポリアミド 30番 芳香族ポリアミド 40番	ほつれ止めを除く

防火上衣サイズ表

【別表5】

単位：cm

	前 丈	胸 囲	衿 丈	袖口幅	適 応 身 長
S	6 5	1 1 6	7 7	1 6	1 6 0 ~ 1 6 5
M	6 8	1 2 0	8 0	1 6	1 6 5 ~ 1 7 0
L	7 2	1 2 4	8 3	1 6	1 7 0 ~ 1 7 5
L L	7 6	1 3 0	8 6	1 6	1 7 5 ~ 1 8 0
3 L	8 0	1 3 6	8 9	1 6	1 8 0 以上

許容差 +2、-1

サイズ表に当てはまらない場合は別途、打ち合わせすること。

防火ズボンサイズ表

【別表 6】

単位：cm

	総 丈	股 下	胴 廻	裾口幅	適応身長
S	88	60	83	21.0	160～165
M	94	65	89	21.5	165～170
	99	70			
	104	75			
L	95	65	94	22.0	170～175
	100	70			
	105	75			
LL	96	65	104	22.5	175～180
	101	70			
	106	75			
3L	97	65	110	23.0	180以上
	102	70			
	107	75			

許容差 +2、-1

サイズ表に当てはまらない場合は別途、打ち合わせすること。

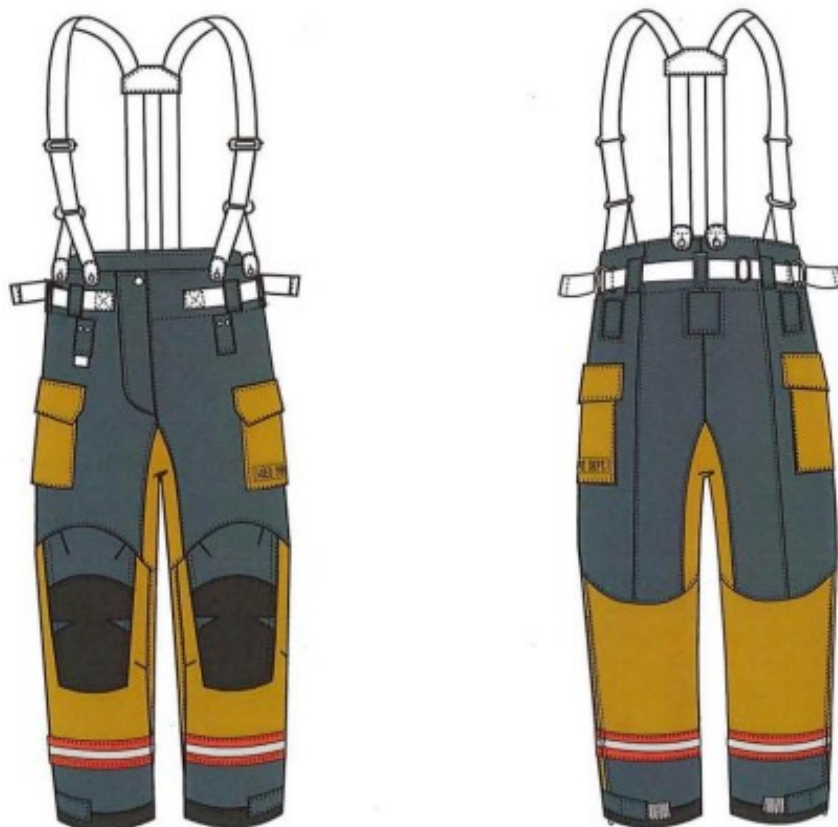
【別図 1】



【別図 2】



【別図 3】



Ⅱ 防火帽（しころ付）

1 概要

- (1) 銀色の帽体表面に、特殊ウレタン樹脂製の消防署用前章を強固に貼り付ける。
- (2) 左右に消防本部名を入れる。【概要図】参照
- (3) 内側に衝撃吸収ライナー、ヘッドバンド等の装着体及び可動式の顔面保護板を取り付ける。
- (4) 帽体下部の外周部には、しころを取り付けられるようにする。
- (5) 物体の飛来または落下及び墜落による危険から、装着者の頭部を保護する構造及び性能を有する。
- (6) 頭部の動きによるぐらつきが少なく、装着中に不快感がないこと。

2 形状等

(1) 帽体

ア 本体

表面を滑らかで、堅牢であるものとする。

イ 消防章

樹脂フィルム3D加工とする。

ウ 消防名標識・周章

帽体の両側面に、黒色丸ゴシック体の文字により「上尾消防」として表示、ウレタンクリアー仕上げで表面加工をほどこし、帽体の周囲に赤色反射テープを取り付けること。

エ 掛け金具

帽体の後部中央に半月環状の掛け金具が取り付けられていること。

(2) 装着体

ア ハンモック

かぶり深さが調整できる、補助ハンモック付きであること。

イ ヘッドバンド

頭回りに応じて約520mmから約630mmまでの範囲で、5mm（寸法許容差：±2mm）ごとにワンタッチダイヤルで調整できるものであり、頭が接触する部分に吸収性及び耐久性に優れた素材が取り付けられていること。

ウ しころ取り付け板

- ① しころ取り付け用として、帽体に取り付けてあること。
- ② しころ取り付け板には、押しホック（オス）が6個取り付けられていること。

エ 頭頂パッド

頭頂部に、吸水性及び耐久性に優れた素材を使用した頭頂パッドを着脱可能な方法で取り付けられていること。

(3) 顎ひも

ア 顎ひも（顎締め用）は、片方をワンタッチにより着脱できるものであり、使用中に防火帽の脱落又はぐらつきがないように確実に締められるものであること。

イ 交換できるものとする。

(4) 装着体固定リベット

装着した状態で、装着体固定リベットと装着者の頭部が直接接触しないこと。

(5) 顔面保護板

- ア 前面からの注水に対し顔面を保護できる構造であり、視界の妨げとなるゆがみ等がないこと。
- イ 顔面保護板を帽体内に収納できる構造とし、円滑に引き出せる機構を有するものであること。
- ウ 顔面保護板を完全に引き出した状態で、顔面側に角度を変更し、２段階有する機構を持つこと。

(6) 総合

FRP（ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック製）。

耐食性に優れ、自己消火性とする。

形状 セミジェット型とする。

表面塗装 銀メタリックと白色のウレタン表面塗装を施す。

重量 920 g 以下とする。

防火帽材質等一覧

1 材質等

名称		防火帽
帽体		ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック製
衝撃吸収ライナー		難熱性を施した発泡ライナー
着 装 体	ハンモック 補助ハンモック ヘッドバンド	耐熱用ポリエチレン成型品
	しころ取り付け板	ナイロン成型品またはナイロン板打ち抜き品
	補助ハンモック 調整ひも	ポリエステルまたはナイロン製 長さ 350 mm 以上とし、両側をほつれ止めしてあること。
装着体固定リベット		防食性を有する金属製
あごひも		ナイロン繊維袋とじとする。黒色とする。
あごひも調整器具		ステンレス鋼または同等の強度及び防食性を有する金属製とし、形状は概要図のとおりとすること。
顔面保護板		無色透明のポリカーボネイト版（両面をハードコートしたもの） たて（帽体のひさしの下端からの有効長） 125 mm 以上 よこ（周長） 240 mm 以上 厚さ 1.7 mm 以上

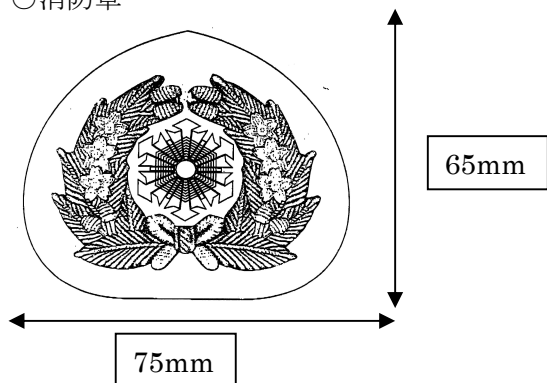
2 規格等

名称		防火帽	
項目		規格等	試験方法
保護範囲		参照平面から 12.7 mm 上の全範囲	ISO11999-5 4.1.10
周辺視野		1 水平に 105 度以上の視野角度 2 参照平面から上方 7 度以上の視野角度 3 基礎平面から下方 45 度以上の視野角度	ISO11999-5 TYPE1 試験方法 EN13087-6:2012 4.11.11
熱伝達性 (放射熱暴露)		1 人頭模型の表面の温度上昇 $\leq 24^{\circ}\text{C}$ 2 帽体の素材の溶解、滴下なし。 3 機能を損なうような膨張、変形、亀裂、穴あきがないこと。	ISO11999-5 TYPE1 METHOD B 試験方法:4.5.1.2 4.4.2.2
耐熱性		1 人頭模型に接触していない部分が試験後人頭模型に接触していないこと。 2 剥離、熔融、滴下、発火しない。 3 可動部分が機能すること。	ISO11999-5 TYPE1 試験方法:4.5.2.2 4.4.3.1
耐 炎 性	防 火 帽 (しころ を除く)	1 帽体素材、顔面保護板の残炎、残じん時間 ≤ 2 秒 2 帽体表面の塗装の残炎、残じん時間 ≤ 5 秒 3 帽体及び顔面保護板に分離、滴下なし。	ISO11999-5 TYPE1 試験方法:4.5.3.1 4.4.4.1
衝撃吸収性		人頭模型に伝達される荷重 $\leq 15\text{KN}$	ISO11999-5 TYPE1 試験方法:4.5.6.1 4.4.7.1
耐貫通性		ストライカと人頭模型に接触なし。	ISO11999-5 TYPE1 試験方法:4.5.9.1 4.4.10.1
耐側圧性		1 防火帽の横方向、又は縦方向の最大変形率 $\leq 40\text{ mm}$ 2 残留変形 $\leq 15\text{ mm}$	ISO11999-5 TYPE1 試験方法:4.5.10 4.4.10.1
耐電気的特性		絶縁破壊の痕跡なし。 漏電電流 $\leq 1.2\text{mA}$	ISO11999-5 TYPE1 試験方法:EN13087-8:2000 5.2 4.5.15.1.1

○左右指定文字（文字の大きさ等、詳細は契約後相談）

上尾消防（前読み）丸ゴシック体

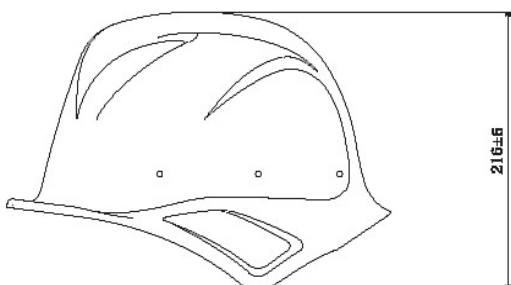
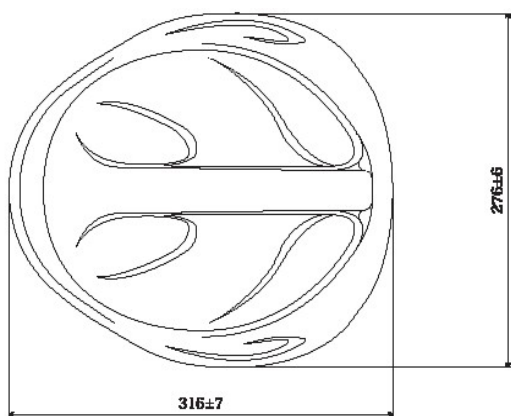
○消防章



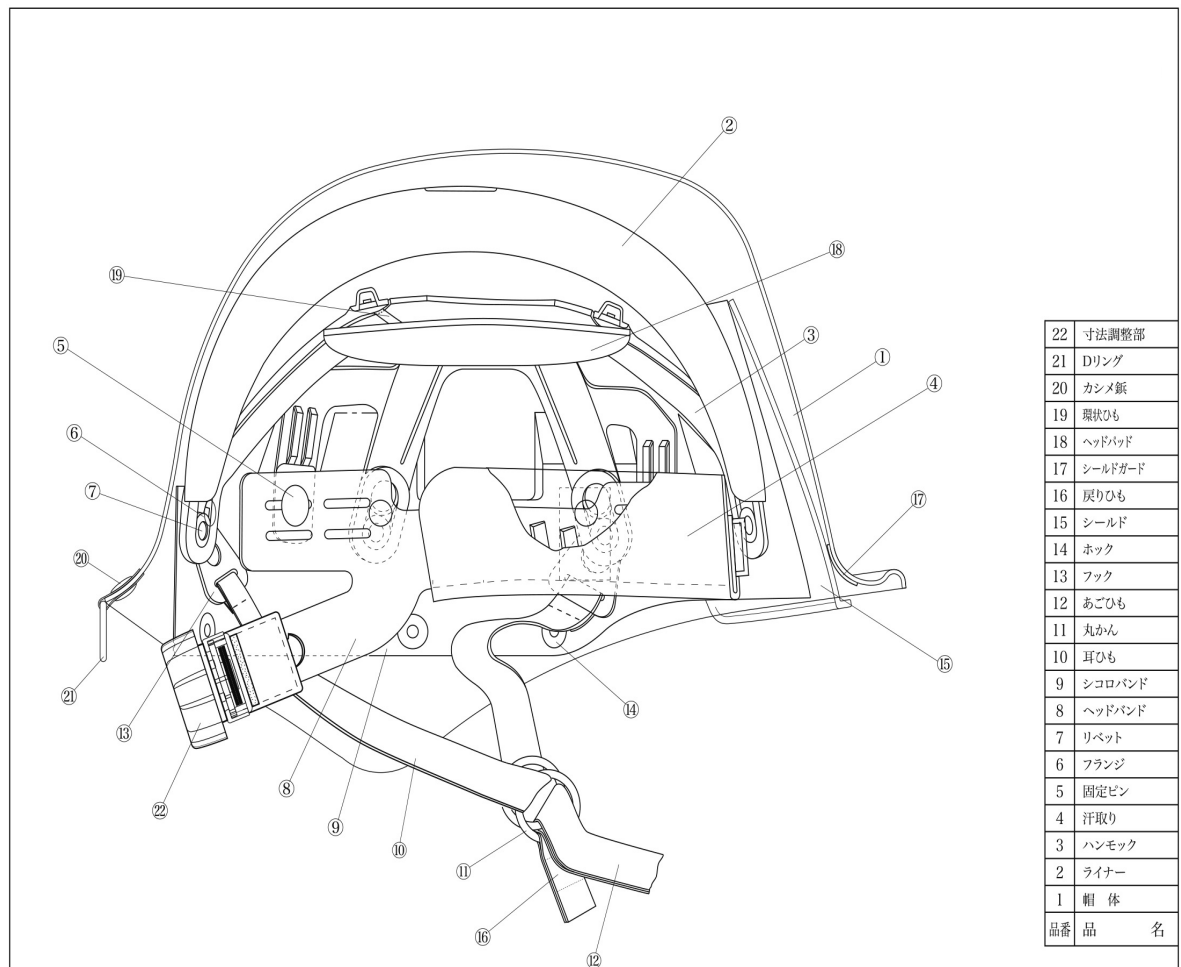
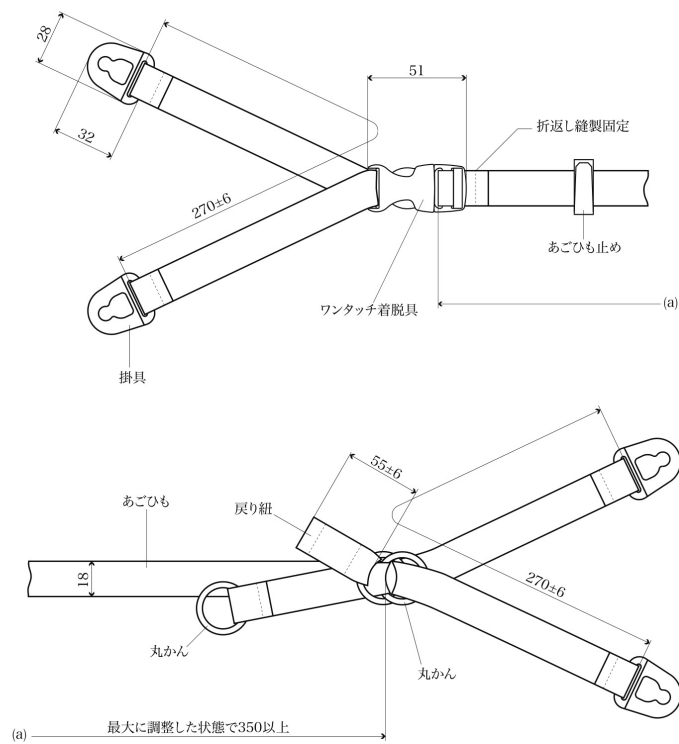
概要図

寸法

単位：mm



あごひもの形状（単位mm）



3 しころ

(1) 使用材料・縫製

I 防火衣上下 1 共通から 3 縫製までに規定する各種条件を満たすものとする。

(1) 条件

防火帽に直接取り付けるものとし、顔面部と首部を保護し、頭部を動かしても肌の露出の無い様にする。

(2) サイズ及び形状

サイズはワンサイズのみとし形状等は、【概要図 1】のとおりとする。

(3) 構造

ア 表生地・裏生地各々 1 枚裁ちとし重ね合わせ、見返しは表地共布とする。

イ 前面は、面ファスナーでとめる。

ウ 前面は、折り返して面ファスナーにて固定出来るものとする。

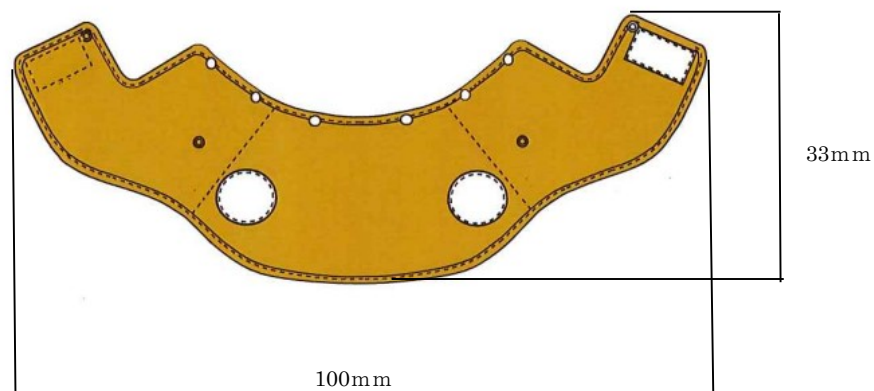
エ しころの周囲は、共布で縁取りをする。

オ しころの左右に、10cmφの丸マジック台を縫い付ける。

カ 使用するⅡ防火帽との脱着が可能になるよう、ドットボタンを取り付ける。

キ 帽体の 6 か所で取り付けることができるものとする。

概要図 1 (単位mm)

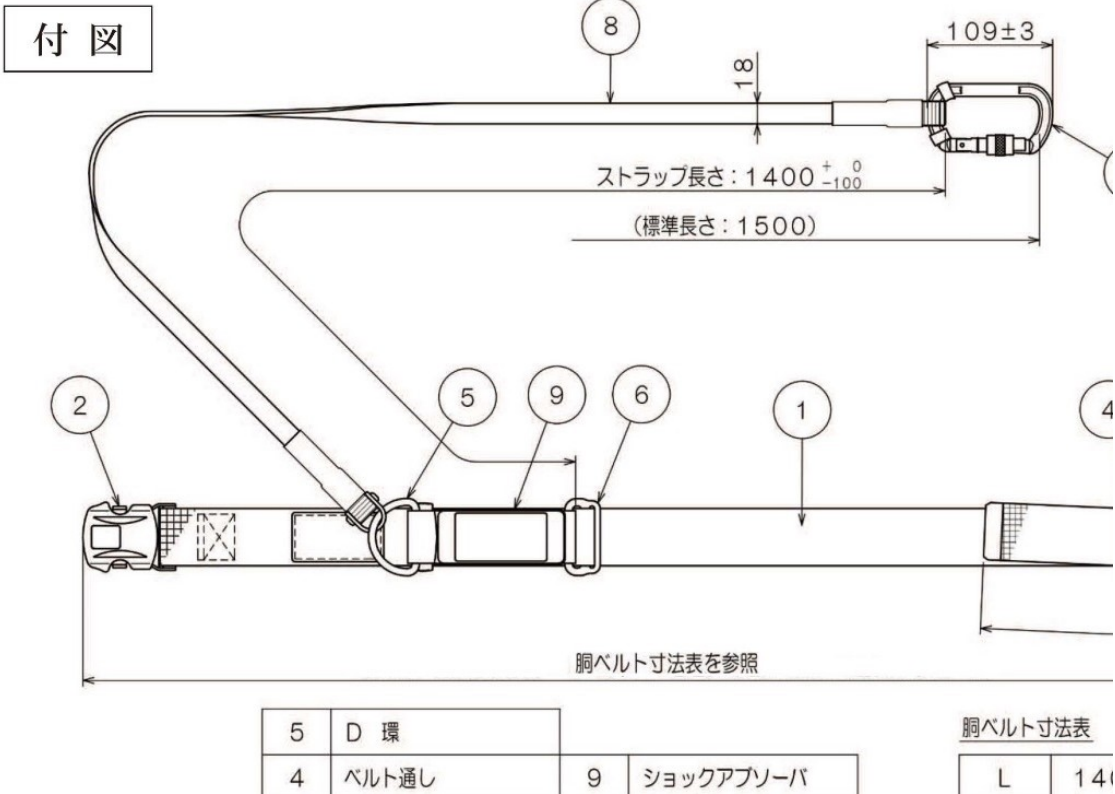


Ⅲ 墜落制止用器具

(1) 基本事項（性能、使用等）

ア 形状及び寸法

付図のとおり（単位mm）



イ 材料

表 1 のとおり

表 1 部品の材料

部 品		材 料
胸ベルト		合成繊維を用いた細幅織のベルトを使用する。
ワンタッチ バックル	フレーム 差込プレート	J I S G 4 0 5 3（機械構造用合金鋼鋼材） S C M 4 3 5 又はこれと同等以上の機械的性質を有したものを使用する。
	ケース	合成樹脂製とする。
ベルト通し		J I S G 4 0 5 1（機械構造用炭素鋼鋼材）S 5 5 C、又はこれと同等以上の機械的性質を有したものを 使用する。
D 環		J I S G 3 1 0 1（一般構造用圧延鋼材）S S 4 0 0、又はこれと同等以上の機械的性質を有したものを 使用する。
連結金具		J I S G 3 1 0 1（一般構造用圧延鋼材）S S 4 0 0、又はこれと同等以上の機械的性質を有したものを 使用する。

カラビナ	カラビナ本体は、J I S H 4 1 4 0（アルミニウム又はアルミニウム合金鍛造品）又はこれと同等以上の機械的性質を有したものを使用する。
ストラップ	合成繊維製ストラップを使用する。
ショックアブソーバ	合成繊維製ベルトを使用する。
すべての材料は、傷・割れ・錆・その他の欠点が無く、金属部の表面は平滑に仕上げ、耐食性の処理を施す。	

ウ 構造

表 2 のとおり

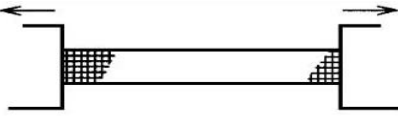
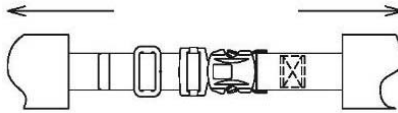
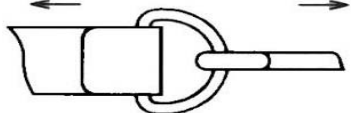
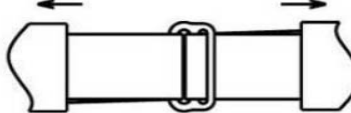
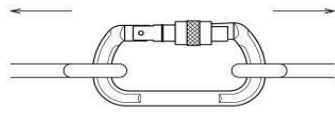
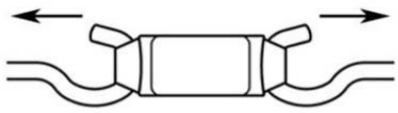
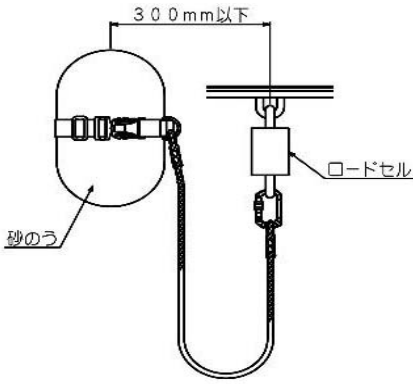
表 2 部品の構造

部 品	構 造
胴ベルト	ベルトの一端にバックル本体を取付け、他端に差込プレートを取付けた構造とする。バックル本体取付部は縫糸によって強固に縫いつけ、十分な強度を有することとする。また、差込プレート側の端末はほつれ止め加工を施す。
ワンタッチバックル	装着の操作がワンタッチバックル式であること。取り外しの操作はツータッチ以上であること。 ベルト長さ調節が容易な構造とする。
ベルト通し	継ぎ目のないプレス打抜製とする。
D 環	継ぎ目のない一体鍛造製で、ベルトとの接触部分には磨耗防止の措置を講じる。
連結金具	継ぎ目のないものとする。 表面にはナイロンコーティングを施したものとする。
カラビナ	かぎ部は 2 つ以上の連続した捜査によらなければ外れない構造とする。ロープの横ずれを防止するためロープずれ防止ゴム環を取付ける。
ストラップ	幅 1 8 m m の細幅ベルトとし、ストラップの一端には D 環を、他端にはカラビナを連結し、その取付部には磨耗防止の措置を講じる。
ショックアブソーバ	墜落制止時に衝撃を緩和する機能を有し、一端に胴ベルトと連結するための連結金具を、他端にはロープを連結するための D 環を取付けた構造とする。

エ 性能

表 3 のとおり

表3 性能

試験項目	試験方法	規格値
性能一般	墜落静止用器具の各部は次の規格値に適合するものとする。なお、繊維製品の引張速さは規定強度の50%までは毎分300mm以内とし、それ以上は毎分150mm以内とする。また、金属製品の引張速さは毎分25mm以内とする。	
胴ベルトの強さ		15.0 kN以下で破断しないこと。
バックル連結部の強さ		8.0 kN以下で破断、又はその機能を失う程度に変形しないこと。
D環の強さ		11.5 kN以下で破断しないこと。
連結金具の強さ		
カラビナの強さ		11.5 kN以下で破断、又は外れ止め装置の機能を失わないこと。
ストラップの強さ		15.0 kN以下で破断しないこと。
ショックアブソーバの強さ		
組合せ品の耐衝撃性及び関連性能	 落下体：砂のう 130kg 自由落下距離：1.6m	衝撃荷重：4.0 kN以下であること。 （2.2 kN以上のアベレージとする） ショックアブソーバの伸び：1.2m以下であること。